

第一回中学校給食検討委員会

開催日時 平成24年11月29日(木) 午後3時00分開会
午後4時30分閉会

開催場所 摂津市役所7階 講堂

出席者 田中 章博 委員
園田 充子 委員
貫山 育枝 委員
松原 隆文 委員
筒井 豊 委員
敷本 悟 委員
西村 ゆり子 委員
濱西 加代子 委員

事務局 教育総務部長 登阪 弘
総務課長 岩見 賢一郎
総務課長代理 安田 信吾
保健給食係長 森崎 孝弘
保健給食係栄養士 秋丸 佳菜

事務局

それでは、委員の皆様お揃いになりましたので、ただいまより第一回摂津市中学校給食検討委員会を開催させていただきます。皆様におかれましては当委員会の設置にあたりまして委員のご承諾をいただきましてありがとうございます。本日司会を担当させていただく教育総務部総務課長の岩見でございます。なにかと至らぬ点あるかと思いますが、よろしくお願いいたします。

なお、大変失礼ではございますが、各委員様の委嘱状または辞令につきましては略式によりましてそれぞれの封筒に入れさせていただいております。

それでは開会にあたりまして、教育総務部長の登阪より挨拶をさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

登阪部長

委員各位におかれましては大変お忙しい中、中学校給食検討会にご出席いただきましてありがとうございます。また、平素からそれぞれのお立場で本市の教育行政の推進にご尽力いただいていること改めまして御礼申し上げます。

中学校給食でございますけれども、ご存知のように昨年度の平成23年度に大阪府の方で中学校給食導入に向けた補助制度が創設され、設備等については補助対象となりますけれども、実際の運営いわゆるランニングコストについては補助対象にはならないということでございます。ただ、この機会にということで摂津市のほうでもこの間中学校給食実施に向けた検討を進めてまいりました。昨年度の3月に市内部での検討を踏まえまして大阪府の方に対し平成27年度からデリバリー方式の選択制で実施してまいりたいという旨の報告書を提出させていただいております。その後9月のアンケートをはさみまして、7月と10月の2回、市民あるいは保護者の方を対象とした説明会を開催してご意見を伺ったところでございます。その中で中学校給食に対しまして様々なご意見がございました。市といたしましては様々なご意見を踏まえ、いろんな意見を集約する中で現実的には摂津市といたしましてはデリバリーの選択制で給食を実施していくことが妥当ではないかなと教育委員会も考えておるところでございます。ただ、いろんな議論の中で一定の論点が整理されてまいりましたので、この機会に改めまして中学校給食等に関係される皆様に集まっていただき、いろんなご意見をいただきまた議論していただき、市が考えておりますデリバリー選択制について検証していただく、そして大きな問題がないかを検証していただき、できることならば一定の方向性を示していただ

ればありがたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。なお、本検討委員会につきましては、さきほど申し上げましたように一定のこれまでの説明会等で概ね論点が整理されてきていると思っておりますので、できましたら今回そして12月、1月と3回程度議論をしていただき、まとめていただければ幸いかなと思っておりますので、その点につきましてもよろしくお願いいたします。本日の会議が有意義な実りのある会となりますようにご協力いただきますことをお願いいたしましてご挨拶とさせていただきます。

事務局

(説明省略) 各委員紹介

事務局

会の進行にあたりまして、この設置要綱に基づき本委員会の委員長の選出を行いたいと思います。委員長につきましては要綱の第5条におきまして委員の互選により定められておりますがどのようにさせていただいたらよろしいでしょうか。委員の皆様のご意見ございましたら伺いたいと思いますけれども。

敷本委員

田中先生にお願いできたらと思います。

事務局

田中先生ということでご提案ございますけれども、ご意見他にございますでしょうか。

委員

異議なし

事務局

異議なしということで、田中先生には委員長席にお席を移動していただきまして、委員長をお願いしたいと思います。

委員長

ご指名推薦をしていただいたので、中学校給食検討委員会の会を進めさせていただきます。それぞれの立場で、子供たちのために何が一番いいのかということをしっかり伝えてもらって、いろいろな条件面もあると思いますけれども、良い方向にお話が進むように協力よろしくお願いいたします。

事務局

それでは、議事に入りたいと思いますが終了予定時刻を概ね4時半と考えておりますので、議事進行にご協力の程よろしくお願いいたします。それでは田中委員長、次第に沿いまして議事の進行を

お願いいたします。

委員長

それでは、次第に沿って議事を進めてまいります。まず1番目でございますが、これまでの検討経過について事務局より説明をお願いいたします。

事務局

(説明省略)

「これまでの検討経過」資料1～3について説明

委員長

説明をしていただいたのですが、3月に計画書を出されて、その後7月に説明会、10月にアンケートの結果を出していただいているということで、昨年度に検討委員会を3回されて、デリバリーという計画書を出されているということなんですが、資料を説明してもらって、それぞれの立場で切り口も違うのかなと思うのですが、説明を聞いていただいてなにかご質問なりありましたらよろしくお願いいたします。

また、この後も細かくわけてお話を伺うことになるんですけども、トータル全体として園田先生何かありますでしょうか。

園田委員

アンケートを見て感じたことですが、まず1点目が、小学生がデリバリー方式のお弁当がどんなものであるかを十分理解された上でのアンケートなのかなと、小学生でなくても、親あるいは中学生もこれがどのものかということを実際説明してからのアンケートだったのかと疑問に思いました。その点はいかがでしょう。

委員長

事務局お願いいたします。

事務局

その点が一番我々といたしましても課題だったかと思っております。それで7月に説明会をさせていただいて、資料でございますように茨木市にも視察にいきました。説明会ではもう少し詳しいデリバリーの資料を出させてもらって説明させていただきました。アンケート結果やアンケートの自由記述欄を見ますと、やはりデリバリーについてまだまだ十分のご理解を得れていないのではないかなといったことは十分に伺えるところがございます。

また、10月の説明会の後、個別に保護者と話をしていると、まわりの方の中でそのあたり十分理解をされていないもとでアンケ

ートを書かれていますし、もう少しそのあたり理解をされて記述をされていたらもう少し違った結果も出てきているのではないかと、いったご指摘もいただいておりますので、そのあたりはどれ程結果が変わるかは難しいところでございますけれども、先生がご指摘になる点はあるかなということです。

委員長

園田先生よろしいでしょうか。

園田委員

デリバリーに関してはやはり自由記述等を見ると、コンビニのお弁当とそう変わらないのではないかと感じるように感じられて書かれたということを見受けましたので、その点質問させていただきました。

事務局

選択制の意味も十分理解されていない場合もあるように思いました。というのは、デリバリーとなるとデリバリーしかずっと頼めないといった理解をされている方もいらっしゃるようで、デリバリーのお弁当ばかりやったら困るなというようなことで。選択制というのは日によってデリバリーかお弁当かを選べるというような説明が十分でなかったのかなと、そのあたりの誤解もあったのかなと思います。

委員長

アンケート結果を見ますと、お家の方と子供たちの思いがいまいちすれ違っている部分もあるのかなと思うんですけれども、園田先生が意見していただいたように、デリバリーを十分想像できているのかどうかというのも確かにあるのかなという風には思います。

松原委員

保護者の松原ですが、このアンケートや資料なんですけど、そもそものところをお伺いしたいんですが、今回中学校給食検討委員会設置要綱という中で、「(設置)」中学校における給食の方式その他の給食の実施に関する検討を行うため検討委員会を設置する「(所掌事務)」次に掲げる事務を掌る、中学校の給食の方式及び導入に関すること、前号に掲げるもののほか中学校における給食の実施に関すること、ということで、設置と事務を行うような形で検討委員会をなされているんですけれども、資料2のところにもありますけれども、中学校給食導入促進事業に趣旨とありますよね。

この資料1のところでは実施計画書にこれまでの検討経過というのをあげていただいているんですが、あまりにも雑ばくとしたもの

すぎて、どういう検討をされてきたのか、最初からどういう趣旨をもってこの給食導入についてどういう考え方をもってこの3回考えてこられてこういう計画書になったのか、これでは全く見えてこないのと、プロの方ですからご存知だとは思いますが、学校給食のそもそもの考え方ですね。設置者の責任としてあくまで全員、努めなければならないという形ですけれども、やっぱり設置者は学校給食が全員食べれるように実施されるように努めなければならないとか、学校給食を活用して食育とかそういうところにも関連付けてやっていくべきだとか、そういうのがあるんですけども、そういうのを第一前提として考えて検討をなされてきたのか、この3回の検討内容というのを先にお尋ねしてから今回の検討委員会を進めてもらえないかなと思っていました。

学校給食法や学校給食実施基準だったり、自分もプロではないのでインターネットで調べた程度なんで、どこまでどうとはわかりませんが、でもやっぱりこの学校給食ですね、摂津市が実際に具体的に考え出したのは23年の大阪府が促進事業をやってからかもしれません。でも、保護者の要望としてはもう何十年と前からずっと要望書を出してきているはずなんです。摂津市がもともと弁当でずっとやってきたから保護者もあまり給食ってことに関する意識低いんです。ただ、他府県の給食ありきの中で引越してこられた保護者の方はなんで給食ないのっていう意見があがるんですよ。同時に何十年とかかって保護者がずっとずっと要望をあげてきた中で、本当に学校給食法、本来あるべき姿というところを第一に考えて検討なされてきたのかどうかという検討経過を教えてくださいたいんですけども。

委員長

前段階の検討委員会でのもう少し具体的なお話をしてほしいということなんですけれども、事務局いかがですか。

事務局

今ご指摘のありました件につきまして、23年度に開きました検討委員会も、学校の現場の方、栄養士の教員の方等も入っていただきましたので、当然それぞれの立場からそれぞれのご意見をいただいております。また、松原委員のおっしゃいました法的な議論も含めご指摘をいただいております。それと実際に事業をやっていく上では場所の問題とか敷地の中でどういう場所が確保できるかとか、そういった基本的な調査というのもありますので、そのあたりも事務局のほうでさせていただいて、今の学校の現状、敷地等の現状と

か親子方式の法的な問題あるいは食数の状況とか含めていろんな形で報告をして議論をさせていただきました。

結果といたしましては委員会としては方式についてその時点でどれが一番今の摂津市にとってベターであるかということは結論としてはいただけませんでした。やはりいろんな課題があって、こういった課題のもとではもう少し検討を進めていくべきではないかというような形での結論でございました。そういったことを含めまして、市の内部で協議をさせていただきまして3月の段階ではデリバリーの選択制ということで一定の市の考え方をまとめて報告させていただいたということでございますので、その前段の検討委員会でデリバリー方式を決定して報告した訳ではございませんので、その点ご理解をいただきたいと思えます。

それから、給食のあり方そもそも論でございますが、確かにご指摘のように学校給食実施基準に、努力規定にはなっておりますが、全員喫食というのは出ておりますので、我々としても全員喫食という考え方自身を否定するものではございません。ただ、以前から中学校給食を実施しておられる市町村につきましては基本的には全員喫食というのが当たり前の考え方でやってこられたと思っております。ただいろんな事情があって中学校給食の実施が遅れて新たに実施をしてきてる市町村を見ますと、選択制も増えてきているのは事実でございます。それはやはり食をめぐるいろんな状況の変化、それから家庭教育の問題、子供たちあるいは食をめぐる状況の変化の中で、選択制というのも1つの選択肢として出てきていると考えております。そのあたりも含めまして説明会の中でも議論をしてきたと思っております。それも後で論点になるかなと思っておりますのでよろしく申し上げます。

松原委員

これ、説明会のときのアンケート結果報告をそのまま持ってこられているんで、このままの形なんで仕方ないとは思いますが、あのとき自分も意見させていただいたような内容のことに近いことを園田委員からもおっしゃられたこともありますし、調査の目的のところ、中学校給食の各方式の内容等について理解を得ることとなっているんですけど、このアンケートで理解を得れる内容にはなっていないと思うんですね。今お話にもありました、検討の中で敷地の問題だったりコストの問題だったりあるのも実際だとは思いますが、要はどこを第一と考えて検討してきたかということを知りたいんです。

検討委員会をされてきたということで、議事録とかありますよね。その議事録を見せていただくことはこの検討委員会でも引き続き検討していくのであれば、それはしていただいてもいいんじゃないかと思うんですけど。要は第1回、第2回、第3回とどのような検討が重ねられてきて、さきほども言われましたけど結論が出たわけではないですよ、まだ課題がいろいろあってその中で考えていくっていうことも、どんな話が出ていたのかというのもそれではわかりませんし、その議事録等を見せていただくというのはどうでしょうか。

委員長

松原委員の方から、前段の検討委員会の話が我々に十分伝わっていないのではないかとのご心配がありまして、そういう意見が出てくるんですけども、その中身に関してここで今出る、その辺は可能ですか。すぐは無理ですよ。どうですか。

事務局

申し訳ございません。一応これは内部といいますか、内部の行政関係者だけで、PTAの方には入っていただいておりますが、あくまで学校給食会の立場で入っていただいておりますので、議事録という形では作っておりません。最終的に議論した内容ということで簡単なまとめはさしていただいております。それはもちろんお見せすることはできますけれども、さきほど申しましたように、いくつかこういう問題点がありますということで、こういった問題を踏まえて検討を深めていただきたいというような内容ですので、特にその議論が今回に影響することはないかという風に思っています。もしご希望であればその最後の文書についてはまた改めてお見せしたいと思います。

松原委員

引き続きの必要はないって、前段階の3回の検討委員会というのは必要なかったということですか。

事務局

必要なかったということではなくてですね、その会議も踏まえた上で説明会も開催させていただいて、またその上にいろんな意見が出てきて、一定の論点が整理されてきていると思っております。その論点が今レジュメに出させていただいているような論点だろうなと思っております。この中におそらくこれに基づいた細かな論点があると思っております。

松原委員

すみません、今学校給食会と言われましたよね。市の内部でと言われましたよね。学校給食会において組織したんですよね、中学校給食検討委員会というものを。そこで会議をしたわけですよね。そこで検討会を開催したわけですよね。

事務局

申し上げますように、その検討委員会で議論していることにつきましては、説明会も含めまして改めて中身について議論してきているわけでございます。特にお見せしないというのではなくて、いろんな立場、学校の先生の立場、担任をもっている先生の立場、栄養教諭の方も入っていただいておりますし、PTAの方も入っていただいております。それぞれの立場それぞれのご意見をいただいております。そういった議論を踏まえて説明会を開催させていただいて、その中で議論を深めてきたと思っておりますし、一定の論点が整理されてきたと思っております。

松原委員

検討委員会の意見を踏まえて説明会を行ったとのことですが、説明会の時には検討委員会の意見というものは、今はそれこそ自分がここで聞いているくらいなんで、検討委員会でどのような最後検討内容が残っているのかということも全然自分も理解していないんですよね。当然説明会に来られている保護者の方、来られている方人数も把握していると思うんですけど、数名ですよね。どの説明会に関しても。その数名しか来られていない中で、保護者全体には全然伝わってないと思いますし、それこそ検討内容、今こういうことを考えているってということに関してはもっと伝わってないと思うんですよ。だから、議事録をとっていないとしても、各会議の後まとめてはいると今言っていたので、せめてまとめているものだけでも、これだけの検討内容が残っていますが市としてはこのような内容でデリバリーの選択性としてあげましたというものを示していただけないと、今すぐでなくていいですけども、今のままではどういう検討内容が残っているのかも全然わからないので。

事務局

最後にまとめたものを1枚もののペーパーでございますけれども、これを改めて出ささせていただきたいと思っております。

委員長

ぜひそれをよろしく願いいたします。

資料2のところ、一応これまでの検討について、アウトラインなんですけれども説明をしていただいておりますので、次の議題の

ところに実施方法決定に向けた論点・課題について具体的なところが、それぞれ聞いていけるかなと思いますので、それ以外で議題1について特に質問がなければ議題2の方で具体的な話をさせていただきながら、今、松原委員が言っておられた前段の検討会のことも踏まえて議論を願いたいと思います。

それでは、2番として実施方式決定に向けた論点についてというところで、その論点が見ていただくと1番から4番までありますが、今日は可能な限りで進めたいと思います。まず式次第に沿って1番の「中学生にとっての学校における昼食の在り方について」とありますが、まず、このテーマでそれぞれの立場でお話を伺いたいと思いますがどうでしょうか。

中学生にとっての学校における昼食、筒井先生、中学校の先生ということでお願いします。

筒井委員

この項目毎にというか、他にも波及する可能性があるのですが、今日は中学校校長会代表ということで出ていますが、別に全部の教職員といたしますか、総意をここに持ってきたわけではないので、また明らかに1つの一定の意見を持ってきているわけではありません。ただ、中学校の現状も含めてということをお話した上での、論点のひとつとして聞いていただけたらと思うのですが。

個人の意見も含めてですが、たぶん給食自体を反対する意見はないと思います。ただ、中学校の現状を言えば、いろんな業務が増えている中で、ひとつ給食指導が増えるということが負担という感があったり、中学校で言えば、給食指導に時間をとられることによって、昼食時間・休憩時間が短くなる、それをの延ばせばクラブ活動の時間が短くなる。といった、栄養面や給食自体の問題ではなくて、中学校その他の部分での意見は当然出てくるとは思います。ただ、PTA運営委員会でもこの話題が出た中で、アンケート僕も見せてもらいました。当然保護者はすごくしてほしい、中学校でも小学校と同じように、当然そういう意見が出てくるとは思うのですが、保護者も明確にどちらかというわけではないと思います。

僕らが懸念していることは、経験を積んでいけば、中学校でも小学校から引き続き給食指導することが当たり前のように教師もなっていくとは思うんです。ただ、一方で弁当の大切さというものの訴えでどっちがいいんだということを保護者の方が1人言われた中で、保護者は作るのは大変だけれど、私たちは中学生や高校生に1つなにか愛情を与えたとしたら弁当だと、それが大きいんだとい

うことを言われました。他の親の方もそれに付随した事を言われたのですが、でもこの方も別に給食を否定しているわけではないんです。でも弁当を作るということの大切さ、給食を実施することでコミュニケーションがとれない、一切話をしないということも当然ありうるので、弁当も非常に大切にしたい。というような意見をされたときに、現状の計画ではデリバリーという話が出ていたので、実際に弁当も大切なので、選択制がいいのかなとその方は言われていました。そんなこともあるので、半々くらいなんで、アンケート以上の答えが出ているように僕は感じているので、それがどうかというわけではないが、現状をお伝えしました。

委員長

ありがとうございます。

中学校は給食自体はやはり子供にとってはベストだろうということなんですが、他のいろいろな要素が少しネガティブな状況にあるというところのお話だったかと思います。

どうですか、濱西先生。

濱西委員

私も食育担当の中学校代表で来ているんですけども、総意、皆さんの意見を聞いているわけではないので、個人的な意見になるかもしれないんですけども、中学校では1時間目から4時間目まで授業があるんですけども、休み時間が各10分間ずつで、その間に体育の授業で着替えるとか他の教室に行くとかほとんどが移動時間になっていまして、小学校は2時間目が終わったあとに30分休みとか20分休みとか遊び時間があると思うんですけども、中学校はないので、今現在ですけども4時間目が終わってご飯を10分程度で食べて、残りの時間は運動場でボールを蹴ったりとか元気な子が多いので、その休み時間を非常に楽しみにしている子がほとんどです。

先ほどアンケートとかいろいろ見させてもらって、食育という言葉が出てきたんですけども、お弁当は親の愛情だみたいな表現がありますが、個人的には食育って栄養のあるものを食べることが食育なのかなと思うんです。最近大学生の食事もすごく乱れているとか、お茶の入れ方1つ知らない子が増えているとかよく聞きますが、やはり自分で作れるようになるというのも食育じゃないかなと思います。小学校でも今中学校に進学するに向けて自分でお弁当を作ろうという授業もされていると聞いていますので、できれば親に頼るだけでなく中学生くらいになったら週1回でも自分で作っ

てみようと、そういう風になっていくことも食育ではないかと思っています。全部給食になってしまうとそういう学ぶ機会も減ってしまうのかなと個人的なんですけれども思っています。

委員長

ありがとうございます。

敷本先生、小学校は授業の終了のチャイムがなると小学生は遊ぶんですよね。休み時間の終了のチャイムがなるとそこで遊びが終わって教室に帰ってくる。中学校は全然違うんですよね。10分の休みは次の授業の準備であるとか、その次のチャイムは授業の始まりなんですよね。小学校はなんとなくそのチャイムで教室に帰ってくるみたいなのとちょっと違いを感じたのですが、それは全然関係ないですか。

敷本委員

学校によっていろいろだと思うんですけども、小学校は2時間目と3時間目の間に20分休みをとってます。給食・掃除が終わって5時間目が始まる前に、25分ないしは30分の昼休みをとっております。本校の場合は5分前に予鈴がなるんです。その予鈴で子供たちは遊びをやめて教室に戻ってきます。

委員長

その続きで私が何が聞きたかったかと言いますと、小学校はお昼のランチタイムといいますか、お昼休みは何時から何時の設定なのでしょう。

敷本委員

これも学校によって若干違いますけれども、大体12時20分ないしは30分から給食時間が始まります。大体45分から50分くらいとっています。だから10分前くらいになったら片づけに入ります。その後15分ないし20分掃除時間で、20分もしくは25分くらいの昼休みということです。

委員長

中学校はどうでしょうか。

筒井委員

一中でしたら12時40分で終わり、1時25分始まりですね。

委員長

だいぶお昼の時間差があるんですね。

貫山さん何かありますか。

貫山委員

奈良に姪っ子がいまして、奈良のほうでは昔から主人もそうなん

ですけれども給食で育ってきてて摂津市に来て、お弁当だということにすごくビックリしてたので、なんで給食でないんやみたいな感じで言われたこともあったんですけれども、姪っ子たちもどういう感じなのかなって、もう大学生なんで中学生のときどうだったのって聞いてみたら、給食だったって。

摂津市は今お弁当なんだけれども今給食に向けての検討会というのがあって説明会とかいろいろあって話をしていたら、絶対給食がいいと思う、温かいものが食べれる、みんなで同じものが食べれる、食育というのが奈良でもあって、奈良で採れたものが給食便りにのってて、そういう勉強会もあったりするみたいなんで、そういうところが給食っていいんじゃないかって言っていました。みんなで給食の配膳をしたりするのも、つながりのないお友達とでもペアを組めば、しゃべりもって行ったりするから、そこで仲良くなれるきっかけも作れたりとかできていいと思うよって言っていました。

あと時間ですね。説明会とかいろいろ聞いていたらやっぱり時間が難しいんじゃないかという声も聞いたので、そういうことも聞いてみたら、中学校は授業の始まりが8時45分くらいから始まると聞いたので、それなら大差ないのではないかと。今8時50分くらいから授業ですよ。5分ちょっと早くなるくらいなのかなと思うのですが。あとはお昼休みが多少減ったり放課後がちょっとずれるのかなと思うんですけど。そういうことを聞いていたら、できないわけではないんじゃないかと思っています。

委員長

ありがとうございます。では西村先生。

西村委員

私もいろいろと意見聞かせていただいて、またアンケート結果も見せていただいて、子供たちは給食当番確かにめんどくさいって言うのは正直なところだとは思いますが、やはり給食をとおして子供たちが学ぶことってたくさんあると思うんです。食材のことだけでなく、いろんな食文化でありますとか、あとやはりみんなで同じものを食べるということの喜びや大切さ、それから給食当番をとおして誰かに給食を準備してあげる、してもらう、こういったお家でもあると思うのですがお家の方が準備してくださるその感謝の気持ちにもつながりますし。

給食って考えれば考えるほど奥深いもので、教育の一環としてふさわしいものであってほしいという思いと、それからアンケートを

見せてもらったところ保護者の方は給食デリバリーとかいろんな面を選択したときに、大人として選択された理由っていうのはすごくいい理由を意見として書かれています。一方で、子供たちは学校でも食育をこれから進めていく上での課題だとは思いますが、好きなものが食べれるとか給食当番がどうといった理由になっています。

そういった理由ではなくて食べるということは命につながるということを考えて上で、そこを正しく選択していくには、どうということ考えたらいいのかということ、小学校から食育というものを、幼稚園でもそうですが、お家でもいろいろと進めていただいていると思いますが、もう一度見つめ直して考えていかないといけないということもこの意見を見て正直思いました。

委員長

ありがとうございます。

学校のニーズといいますか、思い、それから保護者、栄養教諭ということでお話をいただいたんですけど、園田先生どうですか。

園田委員

今までいろいろとお話をお伺いいたしまして、食育ということはたして給食をやるだけではできないのではないかな。また逆に給食をすることによって、少し進歩するのではないかな。その2面性があるわけですね、今の段階で本当に給食がいいのかどうかということを今まで検討してきたけれども、その結論がなかったというようなことを先ほど言われましたが、結論がまだないままでどのような形が一番いいのかをずっと考えておりますと、結論が先送りになるような感じがするのですね。今本当に大切なのは何なのかということで、私の意見ですけれども考えました。アンケートを見ていましたら、小学生は給食がよかったということが書かれております。それは摂津市の給食がすごくよかったのだということで、摂津市の小学校の給食に携わっている方は自信をもっていいと思います。

そういうところを踏まえまして、小学生と中学生の意見ですけれどもその中で、みんなと同じものが食べられるからということで給食がいいといった意見が中学生は非常に少ないですね。そして逆に保護者の方もどちらかというと栄養バランスがとれているからとか温かいものもいいからとか、お弁当がどうしても作れないときがあるからとか、そういうのが比較的多数の給食実施してほしいという意見の中に入っております。そういうことを考えましたら、一番最初にやるべきことは一体何なのかなということなんです。今財政面と

かいろいろいっぱい問題がある上で、それを全部クリアして一番いい方法を考えていたら一体いつ実施できるのかなというように、皆さんのご意見を聞きながら思いました。

委員長

それぞれの立場でそれぞれの思いを、学校の子供たちの中学生の昼食の在り方というところでお話していただきました。

論点があと2, 3, 4とあるんですけれども、時間が大変厳しい時間になっているんですけれども、2番目に「保護者にとっての中学校における昼食の在り方」これもいくつかすでにお話が出ていたのかなと思うんですけれども、ここに関してもやはり保護者の方は給食全員お願いしますといった意見が多いようなんですけれども、どうですか。

松原委員

先ほどの、中学生にとっての昼食の在り方とも共通してくるんでしょうけれども、実際各家庭の状況としてアンケート結果にもありましたが共働きが多いですね。共働きの中で時間的な面だったりの制約の中で弁当より給食の方がいいっていう思いはあると思います。1番大きいのは栄養バランスだと思います。子供の意見で多かったのは好きなものが食べれる好きな量が食べれるっていう意見でした。先ほどの学校給食実施基準にもあるんですけれど、要は好き嫌い、嗜好の偏りを少なくする、なくしていくっていう配慮も給食の中には大きいと思うんですよ。でも、家庭で弁当を作っていると、親は子供からこれがいいと言われたら作るし、これを食べてほしいからと思って入れたところで食べないで返ってきたときの親の辛さって言ったらないんで、次から作りにくくなるんですよ。そういうところでいうと、給食でいろんなものを食べてもらえるっていう保護者のそのメリットが大きいから、栄養や献立がアンケート結果でも関心のあるものの上位にきていると思うんです。そういう意味で弁当より給食の方がありがたいっていうところは大きいと思います。

委員長

いろいろでしょうね。お父さんもお母さんも忙しいから、どうしても大人の都合で給食がありがたいって言うておられる場合もあれば、バランスのことや温かいものといった子供のことを考えて言うてもらえてる場面がきっとあるのかなと思うんです。

そうですね、あと弁当ですね。給食になったからといって弁当を

松原委員

全くなくすってということもしなくていいと思うんですよね。小学校でもお弁当を持っていく日を作ったりしているんですよね。学校でも弁当を作ったりする取り組みもしていると言っていましたよね。中学校でもそれをやってもらってもいいと思うんです。給食をずっと毎日ではなくて、月1回なり週1回なり弁当の日を設定してもいいと思いますし、そういうことは学校の先生の負担にはなると思うんですけど、いろんなところの時間の制約だったりお昼の時間も小学校と比べたら20分なり30分なり短い中での取り組みになりますのでしんどいでしょうし、ただ親の意見としたらそうやってしていただけたらありがたいと思います。

ありがとうございます。

委員長

園田先生が言われたようにどこで結論を出すかということですが、私も今日委員長を引き受けさせてもらったんですけども、できるだけたくさんの意見をここで出してもらって、ただ4番目にあります財政面から見たというのは、これは私非常にひかかっているんですけども、これもどうしても避けて通れない部分でもありますし、子供のために何が一番良いのかという視点はここでははずさないようにして、しっかり前へ進むような意見を出していけたらと思います。

事務局、予定の4時半になっていますが、この後は次回ということも可能でしょうか。

はい、結構でございます。

事務局

そうしましたら時間がきてしまっていますが、この後も2回、3回と意見を煮詰めてもらって、子供たちにいい結果が出るように進めたいと思います。

委員長

本日はありがとうございました。残りの議事については、次回に引き続きお願いいたします。

事務局

本日はこれで終了させていただきます。ありがとうございました。

委員長